



いつでもくらし最優先

日本共産党
5人がやります



3つの負担軽減

1

国保・介護・後期高齢者
保険料引き下げ

この10年でいずれも約2割値上げ。日本共産党だけが反対。

2

小学校と同時に中学校も
給食無償化

1万人の署名などで来春から小学校が無償化に。中学でも！

3

大山崎では5万4千円も
水道料金減額

コロナ禍以降、全国各地で実施。大山崎町は1世帯5万4千円も。
(口径20mm世帯)

争点は「市民の負担軽減」

日本共産党	市政の争点	自民・公明・立民・国民・維新
○ 賛成	給食費の値上げストップ 請願	✕ 反対
✕ 反対	国保・介護・後期高齢者 保険料の引き上げ	○ 賛成
	下水道料金の値上げ	
	100億円の庁舎等建設	



この4年間でも、みなさんと一緒に
実現できました

- 学校体育館へのエアコン設置
- 高校生の入院費無料化
- バスの通学定期・高齢者パスの補助
- 生理用品の配布、一部トイレへの設置
- 中小企業振興基本条例 など



議員団公式LINE



長岡京民報 2025年9月号 発行：日本共産党乙訓地区委員会
長岡京市長岡2丁目6-10 TEL.954-5166
日本共産党乙訓地区委員会は上記の見解を発表しました

消費税5%に！
大軍拡・医療改悪はNO！
とめよう気候危機！

日本共産党

日本共産党 たけやま さいこ

こんにちは

私は、2018年まで市議を17年間つとめてきました。長岡京市議会で初めての出産を経験した議員として、中学校給食や保育園増設などを市民の方々と力をあわせて実現してきました。子どもと保護者、障がいのある方や介護の必要な方とご家族、教育や福祉の現場の声を届けてきました。

戦争を繰り返さない——平和への思いが原点です。上がり続ける物価から暮らしを守る長岡京市に。お買い物困難や交通の不便をなくしてほしい、災害に強いまちづくりを、緑豊かな環境を残したい——など、日々の暮らしの声に応える長岡京市に。あなたの声をカタチにするためにがんばります。



声をカタチに
いつでも生活者目線

- PROFILE
- 1971年生まれ。京都市洛西ニュータウンで育ち、洛西高校、京都教育大学卒業後、印刷会社で6年間勤務。家族は夫、息子、娘。
 - 2001年から5期17年長岡京市議会議員。
 - 2019年・2023年京都府議会議員選挙、2022年参議院選挙京都選挙区で立候補。
 - 現在、日本共産党乙訓地区委員会委員長。



あなたの声を届けて前に進めます！

- 暮らし**
 - 公共事業の優先順位は市民合意で
 - 公共施設跡地は市民のために活用
 - PFAS 対策強化・地下水守る
 - 買い物不便の解決
 - 路線バス・はっぴいバス増便
 - バス停・歩道のベンチ増設
- 子ども**
 - 保育園待機児童解消
 - 発達障がい・不登校支援
 - 学校・学童クラブ過密解消
 - 児童館・公園づくり

- 障がい・高齢福祉**
 - 放デイ・入浴介助など利用日増
 - 入所施設の新増設支援
 - 補聴器費用助成
 - タクシーチケット支給
- 若者**
 - 学費・通学費補助や奨学金返済支援
 - 家賃補助制度を若者等にも
- 事業者**
 - 地元発注や「地産地消」推進
 - ケア事業所の運営支援
 - 農作物の獣害・虫害対策、農業支援
- 防災**
 - 猛暑対策、土砂災害・地震避難対策の前進

市会議員二階堂けい子 たけやまさいこさんにバトンタッチを

西乙訓高校の避難所開設、歩道のベンチや体育館へのエアコン設置など、みなさんの要望を実現してきましたが、やり残していることも沢山あります。取り組みを前進させるためにも、市会議員の経験豊かなたけやまさいこさんを、どうぞよろしくお願い申し上げます。



私も心から推薦します 元市会議員 野坂 京子



たけやま さいこ
これまでも
これからも

声をカタチに いつでも生活者目線

発達特性のあるわが子と 父の病気と介護に 向き合う中で

第1子に発達特性があることがわかり、特性や障がいのある子のお母さんたちと学び語り合う活動を十数年続けています。子どもたちは寄り添う支援や理解があればのびのびと成長できる——私の実感です。

同時に15年ほど前、父が認知症になり、私もダブルケア世代の一人に。離れて暮らす父と毎日一緒にいられないもどかしさと、介護・医療のありがたさを痛感してきました。介護・医療の負担の重さ、ケア現場の人手不足と低待遇をなんとかしたいと心から思います。

どの子どもどの人も、生きづらさを抱えずに暮らせる長岡京にしたいです。

2001年～2018年

市議として声を届ける

シングルマザー、障がいのある人、在宅で介護する人、暮らしが困窮している人、発達特性のある子…。市議として声をあげづらい人たちの声を届け、特別支援教育の強化、障がい者サービス充実と事業所支援、保険料引き下げ、家賃補助、介護支援など、一歩でも前進をと、求め続けてきました。

発達凸凹のある子の 頼れる先輩ママ、がんばって!

- 小学生2児のママ 藤目 明菜さん
たけやまさんは、発達凸凹のある子の親たちが共感しあえる「そだちカフェ」の先輩ママ。たけやまさんは、話をきくのも上手でアドバイスも的確で、そこにいたら安心できる頼れる存在です。市民のためにがんばって!



そだちカフェ

1995年～

平和を願い行動

沖縄で米兵による集団少女暴行事件が起き、沖縄県民の大きな怒りを知り、自分も声をあげなければと強く思い、芸大・美大生たちと一緒に「ピースハンドプロジェクト」という活動を始める。平和を願って今も行動に。

市民の命と暮らし第一にする人に 平和の思い託したい

- 高台四丁目 山中 繁さん
80年前、私は5歳でした。当時の権力者は私利私欲で戦争に突入した。今、その悪い流れに戻りつつある。政治家を志す人は、私利私欲ではなく、命を大切にし、幸せな育ちを応援する気概が必要ではないか。たけやまさいこさんは、まさに市民の命と暮らしを第一に活躍してきました。市政で再び貢献したいとの決意を、私も応援します。



戦争のない社会に!

2014年

中学校給食を実現

保護者たちと一緒に1万筆の署名を集め、2018年に中学校給食を実現(長四中は自校方式)。



中学校給食を実現する会ミーティング

中学校給食を実現した仲間として

- 奥海印寺 山崎 正和さん
たけやまさんは中学校給食実現のとりくみで、どうすれば実現できるかと強い思いでがんばっていたのが印象的でした。人の輪を大切にし、みんなの笑顔のために努力されるたけやまさいこさんに、その力を発揮いただきたいです。

2011年～

原発ゼロめざして

福島原発事故を目のあたりにし、原発ゼロの思いをもち、福島を訪ね、被災地の声を伝えてきました。原子力防災の必要性を議会でも求め、市独自の学校・保育所の給食の放射線量測定を実現。



訪問した福島県浪江町の希望の牧場



さよなら原発 11 日行動

2015年・2018年

保育園を新設

署名運動に取り組みながら、多くの関係者と資金を集め、一文橋に小規模保育園と調子に認可保育園を新設。



保育所ふやして署名

カ合わせ保育園を開設、 現場の声をふたたび議会に

- 奥海印寺 上原 直子さん
所長をしていた認可外保育所の運営が危機だった10年前、「がんばろう」と言ってくれたのが保護者OBのたけやまさん。翌年に小規模保育園、その3年後に75人定員の認可保育園ができました。議会でもつねに保育問題をとりあげてくれていました。ふたたび議会にぜひ。

2019年～

社会を動かす

コロナの一斉休校のときに、ママ友たちと保護者・子どもへのオンラインアンケートを集め、900人の回答を市に提出。痴漢被害をなくすため鉄道会社に申し入れ、電光掲示やパトロールなどが強化される。長岡京市の小中学校給食費の無償化を求める署名運動に参加し、市内で1万筆の署名が集まり、国を動かして来年から小学校は無償に!



鉄道会社に痴漢対策申し入れ